

豊のまなび
大分県高等学校PTA連合会新聞
vol. 62

大分県高P連HP
http://k-pta.site

全国高P連HP
http://www.zenkoupren.org



バトンタッチ!
令和7年6月の総会にて、会長に就任された矢野会長に今後の抱負を語っていただきました。



会長 矢野 伸二

このたびは大分県高等学校PTA連合会会長を務めさせていただきましたことになりました。

所属は佐伯鶴城高等学校です。生徒が夢に向かって歩む姿に力をいただきながら、皆さまと共に活動できることを心よりうれしく思います。各校ではぜひ生徒との対話を進め、その声を学校や地域、行政に届け、教育環境づくりにつなげていただきたいと思います。

来年度には64年ぶりに全国高等学校PTA連合会全国大会が大分で開催されます。

会場運営や広報、来訪者のおもてなしなどを分担し、県内一丸となって準備を進めましょう。

「大変な時は大きく変わる時」。家庭・学校・地域が力を合わせれば、大分らしい温かさを全国に届けられると信じています。

別府翔青高校が代表校に選出、九州大会へ! PTA 振興大会

12月7日、大分県教育会館 多目的ホールにて令和7年度大分県高等学校PTA連合会「振興大会」が開催され、大分県下の加盟校より約150名の会員が集いました。

大会の構成は二部構成となっており、第一部では県内5地区の代表校による研究発表を行いました。発表校は、大分豊府高校、別府翔青高校、日田林工高校、中津南高校、竹田高校。各校、創意工夫を行いより実践的なPTA活動の取組みの紹介をしていただきました。

第二部では、日本学校教育相談学会大分県支部理事長 長谷川多美子氏をお迎えし、題して「あたたかい親子関係を築くコミュニケーション」について講演をしていただきました。具体例を交えながら、言葉の選び方、よりよく子どもと向き合うコミュニケーションの仕方など、とてもためになる興味深い内容でした。ありがとうございました。

※第一部の研究発表の内容を厳正に審査した結果、別府翔青高校が大分県代表校に選出され、来年7月の九州高P連福岡大会にて発表することになりました。頑張ってください!



CONTENTS

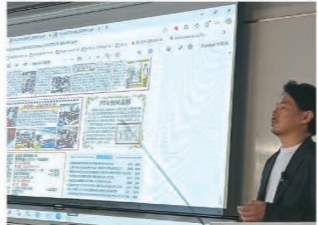
- 2 >> 特集
第75回全国高等学校PTA連合会大会 大分大会
- 4 >> 高校訪問 生徒に聞いてみた
- 6 >> 地区別研修報告 / 各委員会報告
- 8 >> 会長ご挨拶 他



広報紙 クリニック

“のびしろ” しかない。

2025年9月28日(日)、講師に佐藤一郎氏(大分合同新聞社参事)をお招きして助言をいただきました。当日は、会場参加11校(24名)に加え、広報紙のみ参加の4校にて実のある研修会となりました。講師からは、「もう一歩ステップアップするには、次のポイントに気を配って記事を書いてみましょう。」とアドバイスをいただきました。



- POINT**
- 1 見出し : 目を引く、キャッチーなものがよい。
 - 2 タイトル : 短文で纏める。記事によって横書き、縦書きを織り交ぜる。
 - 3 リード文 : 本文の要約、2行、3行で書く。
 - 4 本文 : 簡潔に。
 - 5 写真(任意) : 写真の向きも工夫する。写真に説明文を加える。

以上の事柄を意識しながら、今後の広報紙の企画・制作活動を実施されて下さい。

- * 編集後記**
- 本年度の調査広報委員会メンバーを紹介致します。私たちは、保護者視点での広報紙作りを努めてまいりました。この想いが皆様に届きますように!
- 委員長 芸術緑丘高校 柳井健太郎
 - 委員 大分雄城台高校 伊東 渚
 - 委員 大分南高校 江藤 弥生
 - 委員 大分豊府高校 後藤 和正
 - 委員 大分工業高校 原田加奈子
 - 委員 大分商業高校 田中 陽子
 - 委員 由布高校 田代 香織

編集長のクスツと笑える小部屋

仲良くしよう!
AI (Artificial Intelligence) という文字をやたらと目にする機会が増えた昨今、AIって何だろう? って皆さん思いませんか? 簡単に言うと、人工知能。大量のデータを学習し状況に応じて判断や予測を行うことを得意とします。少し前まで、インターネットの検索エンジンを利用して様々な情報を得たものですが、このAIは対話型で色々な情報を提供してくれます。情報の探索はもちろん、絵を描いたり作曲したり議事録や資料作成もあつという間に実施してくれるんです。凄いなと思う反面、この情報正しいの? という不安と...。まずは、AIと仲良くしてみて提供してくれる情報をアドバイスとして受け止め、その結果を鵜呑みにせずには最後は人が自ら決断や判断を行いたいですね。AIさん、お互い知恵を出し合ってください。

大会テーマ

「湯ごころ 真ごころ 親ごころ」～輝く未来を切り開け～

今夏、開催される大会概要につきましてご紹介します。全国から約6,000名の方々が参加される予定です。皆様のご協力を頂き大分大会を成功させましょう!!

ごあいさつ



第75回
全国高等学校PTA連合会大会
2026大分大会 実行委員長

和田 俊二

第75回の全国大会がこの大分県で開催されるにあたり、心から全国の皆様を歓迎すると共に少しでも参加される皆様に役立つものをとの思いで実行委員を始め、大分県の全員、心を一にして準備をしているところであります。

大分県は古くより「豊の国」と呼ばれ、現代においても、温泉を中心に日本において観光地としてのリサーチでも上位に入る地でもあります。参加して下さる会員の皆様には是非、景勝地としての「豊さ」、食の「豊さ」、温泉を中心として保養地としての「豊さ」、何より大分県人のおもてなしの心の「豊さ」を体感して頂きたいと思っております。古代より山海の恵みのほか朝鮮半島からの文物を瀬戸内海を通して送り出す中継地として栄えたことが「豊の国」の由来と言われておりますが、私はそれだけではなく、ここに住む人々の心の豊さが「豊の国」と呼んだ人たちに伝ったからではないかと思っております。

時代が変わり、生活する道具が進化し社会や考え方がどう変化しようとも、豊かな心に育てられた子どもは豊かな心を持つ大人になるこのことは普遍的ではないでしょうか。PTAを通じて豊かな心を持ち、次の世代に渡していくことの意味をこの豊の国大分で考えませんか。ここ大分の地で、全国のPTA会員が一堂に会し、輝く未来を切り開くため共に一歩前に踏み出しましょう。

多くの皆様の参加をお待ちしております。



大会日程

1日目 8月20日(木) 分科会

スケジュール 内容により時間帯が異なる場合があります

- 11:30~13:30 ● 受付
- 13:00~ ● アトラクション
(別府鶴見丘高等学校 新体操部)
(安心院高等学校 和太鼓部「和香葉(わかば)」)
(日出総合高等学校 工業部)
(臼杵高等学校 箏曲部「心に気合い」)
- 13:30~13:50 ● 開会行事
- 14:00~15:00 ● 基調講演
- 15:15~16:30 ● パネルディスカッション
- 16:30~ ● 閉会行事

会場

- 第1・第2分科会
別府国際コンベンションセンター(ビーコンプラザ)
- 第3分科会
立命館アジア太平洋大学(APU) ミレニアムホール
- 第4分科会
J:COMホルトホール大分大ホール
- 第5分科会
iichiko総合文化センター(いいちこ) グランシアタ

2日目 8月21日(金) 全体会

スケジュール

- 8:00~ ● 受付
- 9:00~ ● アトラクション(由布高等学校 郷土芸能部)
- 9:30~10:30 ● 開会式、表彰式
- 10:40~11:50 ● 記念講演
- 12:00~12:30 ● 閉会式

会場

別府国際コンベンションセンター(ビーコンプラザ)

※大会日程および分科会の詳細は「2026大分大会」ホームページを参照ください。
<https://pta2026-oita.jp/>

2025 三重大会

2025年8月21日(木)・22日(金)、第74回全国高等学校PTA連合会大会三重大会が開催され、今年度開催県の三重県より次年度開催地の大分県へ“バトン”が渡されました。

いよいよ、今夏、大分県で全国高等学校PTA連合会大会大分大会が開催されます。



次回開催県(大分) 引継ぎ式の様子



2025三重大会大会の看板

表彰

三重大会にて、下記の方々が表彰されました。おめでとうございます。

- (個人表彰) 大分県立大分工業高等学校 川邊 隆 様
- 大分県立大分南高等学校 梅田 大樹 様
- (表彰団体名) 大分県立芸術緑丘高等学校PTA 生野 三善 様
- 大分県立中津北高等学校PTA 西村美千代 様
- (役員等個人表彰) 和田 俊二 様

記念講演

演題 「夢が導く諦めない気持ち」

日時 8月21日(金) 10:40~11:50

場所 ビーコンプラザ コンベンションホール

生年月日

1982年8月4日(44歳)

身長/体重

184cm / 92kg

血液型

B型

出身地

大分県大分市

趣味特技

ゴルフ大好き
ラグビー観戦



講師 内川 聖一(うちかわ せいいち)
大分県障がい者スポーツ協会アンバサダー
別府ツーリズム観光特別大使

ご自身の経験から、夢を現実にするための“心がけ”を熱く語って頂きます。

大分工業高校

100年の歴史に新たな一歩を刻む、山岳部の挑戦!

今年で創部100周年を迎える大分工業高校山岳部。登山競技のうち《縦走》《スポーツクライミング》という異なる種目で、九州大会やインターハイに出場するなど活躍を続けています。その活動内容を取材しました。

登山競技 建築科3年 木本 慧さん (キャプテン)

登山競技は4人1組で数日間に亘って競います。インターハイ出場にあたり唯一の3年生として、限られた時間の中で後輩を指導しながら、装備の準備や体力トレーニング、山の情報収集に励みました。インターハイの競技当日はテント設置を含めた全ての所作を評価判定されます。緊張感の中、作業ミスもありましたが、全員で困難を乗り越え、貴重な経験となりました。卒業後は、大学進学を希望しています。今後は、新たな山への登山挑戦を目指しています。

登山競技 機械科2年 堺 颯さん

急きょ出場することになり、緊張してミスもありましたが、サブリーダーとしてチームをけん引しました。入学当初はバスケ部志望でしたが、山岳部の珍しさに惹かれて入部しました。高校卒業後は就職希望ですが、まずは来年の県総体3連覇に向けて意欲を燃やしています。

登山競技 機械科2年 末永 隼久さん

初めての大会出場がインターハイとなり、体力面に不安を抱えながらも仲間を支えられての出場となりました。入学時の部活動誘では「ホワイトな部活」と聞いて入部したものの、実際は思ったより体力勝負でしたが、楽しく過ごしています。先日、新人大会では優勝を果たしました。次の目標の県総体に向けてトレーニングに励んでいます。

登山競技 機械科2年 堺 楓さん

中学まで山に登る機会はなかったのですが、高校入学後、珍しさに惹かれて山岳部へ入部しました。インターハイでは経験不足から装備準備に苦戦しながらも貴重な経験を積むことができました。今後は体力強化に励み、県総体での好成績を目指して頑張りたいです。

スポーツクライミング 電子科2年 森 葵さん

兄の影響で小学4年生から本格的にクライミングを始めました。工業系の技術を学ぶために当校へ入学しました。放課後は大分市内の施設で練習に励んでいます。バランスや柔軟性を活かしながら、筋力トレーニングを行いパワーが必要な競技にも耐える体づくりにも力を入れています。将来は選手としてだけでなくトレーナーとしても活躍したいです。

100年の歴史を背負いながら、それぞれの目標に向かって挑戦を続ける山岳部。これからの活躍にも注目です!



木本さん、堺颯さん、堺楓さん、末永さん、森葵さん



宇佐産業科学高校

地域に根ざし、未来へ羽ばたく4学科

宇佐産業科学高校は、県内で唯一「農業・工業・商業・家庭」の4学科を備えた専門高校です。今回は、各学科の3年生にそれぞれの学びやイベント活動についてお話を伺いました。

グリーン環境科 (農業): 吉田 翔大さん

グリーン環境科では作物・果樹・畜産・施設園芸と4つの類型に分かれていて、1年次では各類型を学び、2年次からは1つに決めて専門的に学びます。実習の時は実際に大きな機械を運転して知識や技術を学ぶことができます。米作りでは田植え～稲刈りを実際に経験することで、卒業後も実践的に生かせる経験ができました。部活動も盛んで、野球部キャプテンとしてチームをまとめ積極的に取り組みました。

電子機械科 (工業): 元永 来陽さん

電子機械科では課題研究として文化財保護活動に取り組んでいます。現在は国東市で発見された「大分県指定文化財桜八幡神社僧形3神座像(さくらはちまんじんじゃそうぎょう3しんざそう)」を3Dプリンターを活用してレプリカ(複製)を作成しています。まだ作成途中ですが完成したら神社へ寄贈する予定です。多くの人に実際に手にとってもらえることを期待しています。将来の夢は電気科の教員になることが目標です。来春は夢に向かって進学します。

ビジネス管理科 (商業): 松永 星菜さん

ビジネス管理科ではさまざまな資格やビジネスマナーを習得できます。「高校生ビジネスマナーコンテスト」では2年次に悔しい思いもしましたが、3年次には最優秀賞を受賞することができました。また、グリーン環境科が生産した農産物や加工品などを販売する「宇佐産(うささん)マーケット」では商品販売を担当しています。以前は商店街の中での開催でしたが、新たに柳ヶ浦駅前で開催したところ地域の方からも好評となっています。実際に自分たちで販売することを通してビジネスマナーをさらに学べる機会にもなります。

生活デザイン科 (家庭): 高橋朱玲忍さん

県内唯一「家庭科」が学べる学科として、日頃から調理実習や保育実習をします。地域の幼・保育園の子どもたちと一緒に過ごす保育実習では長い時間をかけて触れ合うことができとても充実しています。「うささんマーケット」では地域の方々と直接交流ができたり、調理実習では宇佐の特産品でもある「どじょう」を地元料理人の方と一緒に調理するなど色々な経験ができます。また文化祭では家庭科で制作したドレスを自分たちで実際に着て発表するのがとても楽しみです。

進学や就職など今後の夢はさまざまですが、みんなに共通して「地域に貢献したい!」という熱い思いが溢れる、魅力的な学校でした。



松永さん、高橋さん、吉田さん、元永さん



三重総合高校

三重総合高校の輝く挑戦者たち

三重総合高校には、普通科・メディア科(商業科)・生物環境科(農業科)の3つの学科があり、それぞれの分野で生徒たちが個性と情熱を輝かせています。

今回は、メディア科と生物環境科の生徒たちの取り組みに迫りました。

メディア科: 伝える力で学校をPR!

3年生たちは「学校PR活動」をテーマに課題研究に挑戦。自分たちの手で三重総合高校の魅力を発信しました。

藤井 未夢さん (3年)

学校の魅力を伝えるためのホームページを制作。見やすさと親しみやすさにこだわり、完成後には先生からの称賛も。「達成感がありました」と笑顔で語ってくれました。

佐竹 玲奈さん (3年)

地域の方々や先生方にインタビューを実施。丁寧な言葉遣いを心がけながら、学校の印象を聞き取り、リアルな声を集めました。「学校の評価を知る貴重な機会になりました」と話しました。

飯塚 比々さん (3年)

中学生向けの学校紹介ポスターを制作。イベント情報やオリジナルキャラクター「くす丸」を活用し、親しみやすく魅力的なデザインに仕上げました。



飯塚さん、佐竹さん、藤井さん

生物環境科: 地域と自然をつなぐ挑戦

農業クラブの意見発表で九州大会に出場したのは、2年生の阿部優奈さん。

テーマは「ばら風呂の使用済み花の再利用」。廃棄される花を活用し、石けん作りに挑戦しました。

「キレイな石けんを作るために、ひとつひとつの作業を丁寧にやりました」と語る阿部さん。

環境への配慮と創造力が光る取り組みです。



三重総合高校の魅力とは?

自然に囲まれた木造校舎は、落ち着いた学びの空間。部活動も盛んで、学科を越えた資格取得も可能。

地域とのつながりを大切に温かい雰囲気は校内に広がっています。生徒一人ひとりの「やってみよう!」を応援する場所。次世代を担う若者たちが、ここで夢を育んでいます。

温かみのある木造校舎で、地域の方々とも近く優しさ溢れる三重総合高校の生徒さん。ほっこりインタビューTimeを、過ごさせて頂きました。



玖珠美山高校

「自立・創造・協同」輝く明日に向かって!!

大分県立玖珠美山高等学校(普通科・地域産業科)では、10月8日~10日に学校最大の行事「美山祭」が行われました。今年のテーマは「memory」。企画・運営の中心を担った前期生徒会の皆さんにお話を伺いました。

文化の部 (1・2日目)

演劇、合唱、バンド演奏、書道パフォーマンス、クラス展示などが披露され、今年特筆すべきものとしては、クオリティが高い1年生の「カジノ」展示が話題に。

体育の部 (3日目)

女子生徒による軽トラック押しや男子生徒による米俵(30kg)持ち上げ競技などユニークな種目で盛り上がり、最後は全校生徒のフォークダンスで締めくくられました。

生徒会の活躍

文化の部ではクイズ大会やビンゴ大会を企画。25名の書記と協力し、仕事の割り振りに知恵を絞り、計画通りに行事を成功に導きました。

学校の魅力

生徒たちは「先生との距離が近く相談しやすい」、「行事が多く楽しい」、「生徒主体で物事を決められる」と学校の魅力を語ります。普通科と地域産業科の交流も特色の一つです。生徒会活動やマルシェなどを通じて絆を深めています。

将来の展望

今回取材に応じてくれた生徒会メンバーは、卒業後は理学療法士、教員、経営事務、ホテル業界など多彩な進路を目指し夢に向かって歩んでいます。「玖珠美山高校が大好き」という思いを胸に、生徒たちはこれからも大きく羽ばたいていく事でしょう。

キラキラした目で様々な質問に対して、自分たちの言葉で誠実に答えてくれた皆さん。これからも色々なことに挑戦し、経験することが明日の皆さんを彩っていきます。皆さんが自身の描いた夢に向かって、大きく羽ばたいてほしいと心から願っています。



繁田さん、吉竹さん、小野さん、赤峰さん、吉竹 真也さん(生徒会長)、赤峰こころさん(副会長)、小野 幸弥さん(副会長)、繁田 大翔さん(書記長)



地区別研修会報告

大分地区

「PTA活動の新たな可能性を探る研修会」

8月3日(日)、県高P連大分地区連絡協議会研修会が開催されました。

大分豊府高校・佐藤真人会長によるNudge理論に基づいた、「ナッジで行動をデザインするPTA活動」では、防災備蓄や花火大会、ボランティアなどの取り組みを紹介され、強制ではなく協力を重視した前向きな活動の姿が共感を呼びました。続いて岡田正彦教授による「これからの高等学校PTAでの活動について」の講演が行われ、参加者約130名が熱心に耳を傾けました。

講演後のグループ討論では活発な意見交換が行われ、アンケートでも「PTA活動の新たな可能性を探る有意義な機会」との声が寄せられ実りある研修会となりました。



県北地区

「未来を見据えたPTA研修会」

7月27日(日)、豊後高田市中央公民館にて県北地区研修会が開催されました。

主催は豊後高田市教育委員会、当番校は高田高校。市長や教育委員会教育長をはじめ、111名が参加しました。

講演会では、株式会社リアブル・コンサルティングの三浦真也先生をお招きし、教育費の調達方法や家計の見直しについて幅広くお話をいただきました。

続いて中津南高校が「変わらないために変わる」をテーマに、未来を見据えたPTAのあり方を提言いただきました。

最後に、県北地区として「情報交換を促進し、子どもたちの安全確保に努める」との決議を行い、研修会を締めくくりました。



別速杵国東地区

「挑戦が未来を切り拓く」

9月14日(日)、別府鶴見丘高校にて別速杵国東地区が開催されました。残暑の中、80名の保護者の方々が集ってくださいました。

今回の講演会では、元ラグーマンで現在はテレビマンとして活躍されている城彰(じょう あきら)氏をお招きしました。演題は「私とラグビー～努力の先につかんだ場所、そしてセカンドキャリアの挑戦～」。

さらに、別府翔青高校PTA会長・伊南寿賀氏からは進路に関する貴重なお話をいただき、活発な質疑応答も行われました。

盛況のうちに閉会となった研修会。参加者が学びと感動を共有し、充実したひとときを過ごすことができました。



県南豊肥地区

「変化の時代に、PTAの新しい一歩」

▶第1回県南豊肥地区 地区別研修会
日時：令和7年8月2日(土)
場所：大分県立竹田高等学校
参加者：35名
研究発表：「伝統・継承・一和～歴史と今が混じり合ったハイブリットPTA」
研究発表では、竹田高校PTAにて以前から行われている活動や今年度新たに取り組む活動の他、生徒の減少に伴いPTA会員数も減少していることから役員数の削減等を紹介。発表後、質疑応答の他各校の取り組み等を紹介する意見交換会も実施。
研修会後、アンケートを実施し、貴重な意見や質問が得られた。

▶第2回県南豊肥地区 地区別研修会
日時：令和7年10月31日(金)
場所：大分県立三重総合高等学校
参加者：25名
講演：矢野 伸二氏(大分県高等学校PTA連合会 会長)
演題：「高等学校の過去・現在・未来」
講演では本年度より大分県高等学校PTA連合会 会長に就任された矢野伸二氏にPTAの成り立ちやこれまでの経緯、時代の変化によるPTAへの関心度の低下。またAIやICTの激進な進化に伴う効率化やPTAへの取り組みの変化など講演いただいた。
大分県だけではなく九州・全国PTAの今を知ることができ、参加者にとっては貴重な講演会となった。



久大地区

「『地元を愛する人材育成に取り組む』

～子どもたちに寄り添うPTA活動～

7月26日(土)、日田三隈高等学校にて今年度の高P連地区研修会が開催されました。

高P連会長・矢野伸二氏の来賓あいさつに続き、日田林工

高校会長・梶原宏一氏が「これからのPTA活動」をテーマに研究発表。さらに「日田焼きそば研究会」代表・河津勇成氏による「卒業生にソウル(魂)を込めて」の講演が行われました。

外気温が40度近くに達する中、52名の保護者が参加し、「暑い(熱い)研修会」となり、充実した一日となりました。



委員会からのお知らせ

総務委員会

「改革で築く、持続可能なPTA活動」

当委員会は、県高等学校PTA連合会の活動が円滑に運営維持できるよう改革に取り組んでいます。

- 本年、具体的に取り組んでいる事柄は以下の通りです。
- ①大分県高等学校PTA連合会における調査広報委員会の運営の在り方について
運営方法についての今後の在り方について、県下ブロック毎に意見集約を行い今後の運営方法について方向性を導き出す方針。

この結果は、理事会の承認を得て2026年6月の総会に付議する予定です。

- ②PTA加入促進に効果が期待できる取組みアンケートの実施
各ブロック毎の地区長を経由し、ブロック傘下の単P会長へのアンケートを実施する予定。集まった情報を集計、分析しその結果をフィードバックするとともに、効果的な加入促進の方法を模索する。
- ③PTA会長ガイドブックの見直し
内容を見直し見やすくしたものを再配布する予定。会長職に携わる方々のガイドラインとしたい。

健全育成委員会

「善行を讃え、声を聴く 一委員会の新たな取り組み」

- 当委員会では、下記取り組みを実践中です。
- ①高校生善行表彰活動
高等学校に在籍する生徒が、学校や地域、社会において善行を行い、他の模範となる行動を示したことを讃えることを目的とし、本表彰を通じて善行の意義を広く認識し、社会全体の道徳意識の向上と地域社会に貢献する心豊かな青少年の育成を目指しています。
※募集は、別途加盟校にお知らせ致します。選考結果は、2026年6月の総会にて発表いたします。
(参考 R6年度善行表彰受賞校)
・大分豊府中学校/高等学校 剣道部の学校周辺清掃及び除草、自転車事故被害者のサポート(女子生徒2名)

- ・宇佐高等学校 高校生平和大使として欧州国連本部に派遣(3年生1名)
- ・芸術緑丘高等学校 音楽科「ふれあいコンサート」や「地域施設コンサート」、美術科 地域の祭りでのうちわ配布・絵馬奉納など
- ・日出総合高等学校 電車で小さい子連れの親子に席を譲る(2年生生徒3名)
- ②生徒との意見交換(対話)について
今年度の新たな取り組み企画として、各校PTA単位での生徒とPTA会員(保護者)とが直接対話できる機会を設けていただき、生徒がPTA活動に対して日頃感じている事、学校生活や家庭生活に関する意見を共有し相互理解をより深く築いていきたいと考えています。
※各校へは、別途ご案内をいたします。

進路対策委員会

「動機ある選択をするために」

- 当委員会は、進路に関するお悩みごとを解決すべく創意工夫しながら活動しています。
- ①進路対策講演会について
2025年10月19日に開催しました。本年は2部構成の企画で実施し、第一部は欄リクルート様から進路に対する考え方や受験生とのコミュニケーションの取り方などを講演していただきました。
第二部の個別相談会は、4名の専門講師をお招きし、「進路全般」、「留学・進路相談」、「奨学金・入試対策」、「就職・適正」の各分野での個別相談を実施しました。
※一部、二部とも盛況のうちに閉会となり、有意義なひとときを共有できました。

- ②進路関連サイト「QRコード集」2025の構築
進路に関するサイトを一同に集め、県高P連のホームページより検索できるように企画中です。
「大分県内の大学情報」、「奨学金等支援サイト」、「資金や教育ローン」、「大分県内の就職支援サイト」、「進学や就職に関するリクルートのサイト」、「高校生・保護者の意識調査等」のラインナップを掲載予定です。



調査広報委員会

「3つの柱で広がるPTA広報活動」

- 当委員会では、下記3つの柱に沿って企画・活動をしています。
- ▶豊のまなび 62号の発行
・特集記事として、2026年8月20日、21日に開催される第75回全国高等学校PTA連合会大会 大分大会について掲載しています。全国から約6,000人の会員の皆さんが大分に集います。
 - ▶PTA広報紙クリニック開催
・2025年9月28日実施しました。
参加校：15校、参加人数：24名。講師より、さらなる高みを目指すために広報紙の記事の書き方のノウハウを習いました。

- ▶PTA広報紙コンクール開催
下記スケジュールで実施し大分県代表校を選定します。選ばれた広報紙は、九高P連大会福岡大会の広報紙コンクールに出品する予定です。
出品募集：2026年1月下旬～2月下旬
選考審査：2026年3月6日
(参考 R6年度選考結果)
最優秀賞 「由布が嶺」 大分県立由布高等学校PTA
優秀賞 「絆」 大分県立杵築高等学校PTA
「鶴見丘」 大分県立鶴見丘高等学校PTA
「西翔」 大分県立大分西高等学校PTA
「あくしゅ」 大分県立中津支援学校PTA